

京都大学新聞

学生団体
京都大学新聞社
京都府京都市中京区
京都大学構内
(761) 2954 編集
(761) 2111 (内線2571)
編集・京都3999
(1部30円 1年間1,000円)

クラスコンパの御相談
承ります
割烹 きよす
〒616-8402 京都市伏見区上本町
TEL (075) 631-1177

全学新リーダーズ・キャンプ 基調報告(骨子)

全日本学生新聞連盟書記局

全日本学生新聞連盟(全学連)は、九月十五日(土)に東京で行われ、全学連新リーダーズ・キャンプの基調報告(骨子)を発表した。報告は、全学連の現状と今後の展望、学生運動の動向、全学連の役割などについて述べた。報告者は、全学連は、学生運動の発展を促進し、学生生活の向上に貢献する役割を担っている。今後の展望としては、学生運動の活性化、学生生活の充実、社会との連携の強化などが挙げられている。

第25回大会以降の学新運動の現況と課題

第25回大会以降の学新運動の現況と課題について、報告者は、学新運動は、学生生活の向上、学生生活の充実、社会との連携の強化などに取り組んでいる。課題としては、学生運動の活性化、学生生活の充実、社会との連携の強化などが挙げられている。

時間的・空間的限界の突破を 全国的連合の強固な推進で

時間的・空間的限界の突破を、全国的連合の強固な推進で、報告者は、学新運動は、学生生活の向上、学生生活の充実、社会との連携の強化などに取り組んでいる。課題としては、学生運動の活性化、学生生活の充実、社会との連携の強化などが挙げられている。

全日本学生新聞連盟 開催要綱

一、九月十五日 午後一時より十六日午後八時まで
二、京都大学構内
三、学新運動(基調報告)
四、分科会一部(学新運動、学新運動等)
五、宿泊は京都新聞にて確保する(参加者は九月十日までに、京都新聞まで連絡すること)

学新運動論 その原理的再検討

1. 学新運動の定義
2. 学新運動の目的
3. 学新運動の方法

学新運動の任務方針

1. 学生生活の向上
2. 学生生活の充実
3. 社会との連携の強化

資料

1. 学新運動の定義
2. 学新運動の目的
3. 学新運動の方法

宣言文

南北赤半学連会を熱烈に支持する
京大の研究者が共同集会
南北共同声明を支持して

京大の研究者が共同集会 南北共同声明を支持して

8・19 総連系 研究者が共同集会
南北共同声明を支持して

外務省の発表によれば、南北共同声明は、朝鮮半島の平和と統一に貢献するものとして歓迎されている。京大の研究者は、この声明を支持し、南北間の対話と協力を促進することを呼びかけている。

赤軍の形成 ドキュメント 赤軍論争史 550円	左翼社会革命 1917-1921年 1,000円	スパルタクス 書簡 1,000円	わが妹人生 1917年夏 1,200円	小社の告知板 1,200円
マルクス主義 軍事論 1,300円	左翼エスエル 闘争史 980円	クラッシュ 叛乱 720円	定期購読のおすすめ 1,000円	大同江 井上由雄 1,500円
マルクス主義 現代篇 1,200円	鹿岩社 1,200円			

東欧・ソ連圏と世界資本主義

70年12月、ポーランド労働者決起を中心に

石川 錬治郎

「ソ連圏の労働者運動は、70年12月のポーランド労働者決起を中心に、東欧・ソ連圏と世界資本主義の関係を再考する必要がある。この決起は、東欧・ソ連圏の労働者運動の歴史を振り返り、その意義を再評価する契機となる。また、この決起は、世界資本主義の危機を告げる信号とも捉えられる。東欧・ソ連圏の労働者運動は、世界資本主義の危機を告げる信号とも捉えられる。東欧・ソ連圏の労働者運動は、世界資本主義の危機を告げる信号とも捉えられる。」

東欧・ソ連圏

「ソ連圏の労働者運動は、70年12月のポーランド労働者決起を中心に、東欧・ソ連圏と世界資本主義の関係を再考する必要がある。この決起は、東欧・ソ連圏の労働者運動の歴史を振り返り、その意義を再評価する契機となる。また、この決起は、世界資本主義の危機を告げる信号とも捉えられる。東欧・ソ連圏の労働者運動は、世界資本主義の危機を告げる信号とも捉えられる。」

「新五ヶ年計画」が労働者反乱を媒介

「ソ連圏の労働者運動は、70年12月のポーランド労働者決起を中心に、東欧・ソ連圏と世界資本主義の関係を再考する必要がある。この決起は、東欧・ソ連圏の労働者運動の歴史を振り返り、その意義を再評価する契機となる。また、この決起は、世界資本主義の危機を告げる信号とも捉えられる。東欧・ソ連圏の労働者運動は、世界資本主義の危機を告げる信号とも捉えられる。」



「ソ連圏の労働者運動は、70年12月のポーランド労働者決起を中心に、東欧・ソ連圏と世界資本主義の関係を再考する必要がある。この決起は、東欧・ソ連圏の労働者運動の歴史を振り返り、その意義を再評価する契機となる。また、この決起は、世界資本主義の危機を告げる信号とも捉えられる。東欧・ソ連圏の労働者運動は、世界資本主義の危機を告げる信号とも捉えられる。」

コメコンの動揺が背景に

世界市場に屈服する東欧・ソ連圏

「ソ連圏の労働者運動は、70年12月のポーランド労働者決起を中心に、東欧・ソ連圏と世界資本主義の関係を再考する必要がある。この決起は、東欧・ソ連圏の労働者運動の歴史を振り返り、その意義を再評価する契機となる。また、この決起は、世界資本主義の危機を告げる信号とも捉えられる。東欧・ソ連圏の労働者運動は、世界資本主義の危機を告げる信号とも捉えられる。」

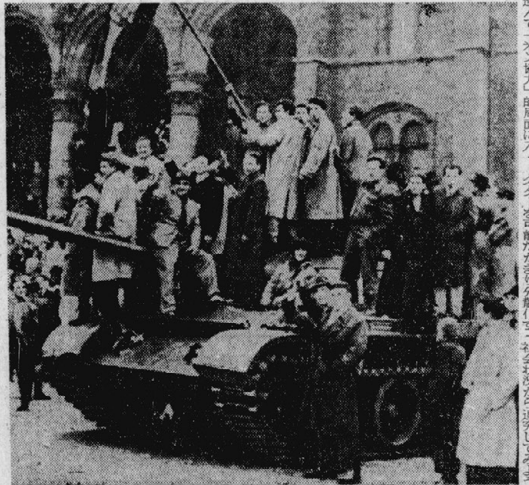


「ソ連圏の労働者運動は、70年12月のポーランド労働者決起を中心に、東欧・ソ連圏と世界資本主義の関係を再考する必要がある。この決起は、東欧・ソ連圏の労働者運動の歴史を振り返り、その意義を再評価する契機となる。また、この決起は、世界資本主義の危機を告げる信号とも捉えられる。東欧・ソ連圏の労働者運動は、世界資本主義の危機を告げる信号とも捉えられる。」

底流にある労働者権力の志向

東西協調に抗する反乱

「ソ連圏の労働者運動は、70年12月のポーランド労働者決起を中心に、東欧・ソ連圏と世界資本主義の関係を再考する必要がある。この決起は、東欧・ソ連圏の労働者運動の歴史を振り返り、その意義を再評価する契機となる。また、この決起は、世界資本主義の危機を告げる信号とも捉えられる。東欧・ソ連圏の労働者運動は、世界資本主義の危機を告げる信号とも捉えられる。」



「ソ連圏の労働者運動は、70年12月のポーランド労働者決起を中心に、東欧・ソ連圏と世界資本主義の関係を再考する必要がある。この決起は、東欧・ソ連圏の労働者運動の歴史を振り返り、その意義を再評価する契機となる。また、この決起は、世界資本主義の危機を告げる信号とも捉えられる。東欧・ソ連圏の労働者運動は、世界資本主義の危機を告げる信号とも捉えられる。」

新編集員に!
鮮烈な感性を持った一・二回生諸君
自らの存在に閃光を放て!
京都大学新聞社...西四部内 761-2894 (編集)

定期購読のおすすめ

購読料	1年間	1000円
	2年間	1800円
	3年間	2600円
	4年間	3200円

※ お申し込みは、現金書留または郵便振替 (京都3909) にてお願いします。

京都大学新聞 (週刊) 1部 30円

京都市左京区吉田 京都大学構内
TEL (075) 761-2054

人類学的視点からするフロイト批判
ウィルヘルム・ライヒ **性道徳の出現**

性の抑圧と革命の論議
ライヒ

ローザ・ルクセンブルク論集
清田 修 他執筆

結社と技術
長崎 浩 政治評論家

旗は大地とともに
出口 武秀

十月革命への挽歌
菊池 果光

新宿区戸塚3-160 渡辺ビル201
電話 368-0770 茨城東京106464

書店にない場合には直接
社までお申込み下さい